

## ①参政剣伝説紹介事例 「参政剣伝説」を活用した授業の提案

～秋田県明るい選挙啓発フォーラム開催レポート～ (秋田県選挙管理委員会)

9月10日に秋田県明るい選挙啓発フォーラムを開催し、明推協や教育関係者等86名が参加しました。今年は中学校での主権者教育をテーマに、生徒会役員選挙を活用した潟上市選挙管理委員会の取組事例や、主権者教育参加型教材「参政剣伝説」を用いた授業案を紹介しました。

授業案は、本県明るい選挙推進協議会の鈴木航生委員が学校現場の要望に応え1コマ(50分)で行えるようにアレンジしたもので、6名の候補者が掲げる政策について、生徒による模擬投票結果とSNSを活用して広い年代の意見を調査した結果とを比較し、違いが出た理由を考えさせます。さらに、SNSの結果に年齢階層別の投票率を加味すると年齢の高い人たちの意見が強く反映される、いわゆるシルバー・ポリティクスの例を説明し、生徒に、身近なSNSで意見を発信すること以上に、選挙で投票することを通じて意見を反映させることの大切さを伝えるという内容でした。



◆主権者教育参加型教材「参政剣伝説」は、総務省が制作した主権者教育のための参加型教材です。概要は総務省HPに掲載しております。

## ②主権者教育推進オンラインシンポジウムの開催について(文部科学省)

選挙権年齢や成年年齢の引き下げなどに伴い、子供たちが主権者として他者と協働しながら積極的に社会の形成に参画していくことを推進するため、家庭や地域、学校において主権者意識を育むことの大切さについて考えるシンポジウムが文部科学省主催で10月4日(日)に開催されます。

【参考URL】[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/mext\\_00306.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00306.html)

## ③明るい選挙推進協会の事業をご活用ください!【明るい選挙推進協会】

協会では、今年度も「市区町村明推協研修会等開催支援事業」を行っています。これは市区町村の明推協、白ばら会、若者啓発グループ等が講師を招いて、研修会や講演会等を開催する際の経費(講師謝金や旅費、会場費)を予算の範囲内で助成するものです。現在も受け付けておりますのでご検討ください。

また、「明るい選挙推進優良活動表彰」につきまして、表彰を希望する団体からの応募レポートを10月30日まで受け付けています。例年、8~10団体ほど表彰しており、表彰団体に贈る副賞は優良活動賞が20万円、奨励賞は10万円としております。副賞は、活動時のお揃いのTシャツや啓発資材の作成費などにお役立ていただいております。

いずれも詳細は、明るい選挙推進協会のHP又は下記までご連絡ください。

【問合せ先】(公財)明るい選挙推進協会Tel: 03-6380-9891

## ④若者向け啓発活動紹介 選挙啓発の連携協力に関する協定 (三重県選挙管理委員会)

三重県選挙管理委員会は、7月20日、皇學館大学及び伊勢市選挙管理委員会と「選挙啓発の連携協力に関する協定」を締結しました。このような協定の締結は、昨年、鈴鹿医療科学大学と鈴鹿市選挙管理委員会の協定に続き2例目となります。

この協定は、19歳から24歳の投票率が全世代の中で最も低い現状を踏まえ、3者が連携し、大学生に対し、効果的かつ継続的な選挙啓発を行うことを目的に締結されました。大学の学修プログラム「CLL活動」に「若者の投票率UP!プロジェクト」を加えていただき、学生自ら投票率向上に向けた施策を検討するほか、学内への期日前投票所の設置も検討していく予定です。

本プロジェクトには8名の学生の参加があり、8月26日に実施した第1回活動では、「選挙に関する情報へのアクセスの仕方がわからない」、「期日前投票に行きたくても授業やバイトなどでタイミングが合わない」など、学生目線の意見が多く出されました。



## ⑤主権者教育アドバイザー紹介 安達 宜正 (日本放送協会広島拠点放送局放送部長)

平成元年、NHKに入局した後、政治部記者や解説委員などを経て、一昨年から広島放送局で勤務するかわら、広島大学客員教授を非常勤でつとめています。解説委員当時、総務省の主権者教育の推進に関する有識者会議のメンバーとして、議論に加わったことから、発足当初からアドバイザーに名を連ねています。

年に数回、大学や各地の選挙管理委員会などにお招きいただいております。当面する政治情勢に加えて、若い人たちの政治参加などについて、思いつくまま、話をしますが、そのあと、必ず参加者からの質問や意見をいただくことを心掛けています。これは、年々、現場感覚が乏しくなっていることを踏まえ、みなさんと意見交換をすることで現場感覚を磨きなさいたいと考えているからです。

また、現在、勤務している広島は世界で初めて原子爆弾の被害を受けた被爆地です。今年には被爆75年、被爆者の平均年齢は83歳を超えました。NHK広島は被爆者なき後、どのように被爆者の声を引き継いでいけるか、核兵器や平和について多くの番組を制作していますので、こうした問題についても、みなさんと議論できればと思っています。



## 主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 中南・堀籠・川村 Tel: 03-5253-5574 FAX: 03-5253-5575